

## 審議会等の議事の要旨(要点)

会議名称	立川市総合都市交通戦略協議会
開催日時	令和2年2月5日(水)午前10時から
開催場所	立川市役所1階102・103会議室
次第	<p>1. 開 会</p> <p>2. 議 事</p> <p>(1)短期計画期間の最終年における整理について</p> <p>(2)中期期間に向けて</p> <p>(3)その他</p> <p>3. 閉 会</p>
配布資料	<p>資料1:短期計画期間の最終年における整理(案)</p> <p>資料2:主な重点的交通戦略・施策</p> <p>資料3:施策の進捗状況</p> <p>資料4:評価指標</p> <p>資料5:立川市総合都市交通戦略中期計画期間の展望</p> <p>資料6:今後のスケジュール(案)</p> <p>参考資料1:立川市総合都市交通戦略協議会委員名簿</p> <p>参考資料2:立川市総合都市交通戦略協議会設置要綱</p>
出席者	<p>[委員]</p> <p>大森宣暁会長、岡村敏之副会長、 熊木雄一委員、宮崎明男委員(代理)、岩佐昌明委員、青山伸也委員、 原清委員、長田裕太郎委員、吉川武士委員、新井淳一委員、 早田俊介委員、藤原廣彦委員、若林勝司委員、小林健司委員、 伊藤正人委員、布施明委員</p> <p>[事務局]</p> <p>小倉秀夫(まちづくり部長)、平出賢一(基盤整備担当部長)、 白坂浩二(都市計画課長)、守屋雅章(まちづくり推進課長)、浅見知明 (交通対策課長)、武藤吉訓(道路課長)、野寺健男(工事課長)、 加藤暁子(交通企画係長)、松崎達矢(交通企画係)</p>
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0人
会議結果	<p>1. 開 会</p> <p>委員任期の更新に伴い、新委員に辞令交付を行った。会長、副会長の職は、互選により継続となった。</p> <p>2. 議 事</p> <p>(1)短期計画期間の最終年における整理について、資料1・2・3・4をもとに事務局より説明を行った。</p>

<委員>

資料4、周囲の道路が歩きやすいと感じている市民の割合に錦町とあるが、錦町内の駅周辺と駅から離れたところでは街並みが異なる。その場合、同じ地域でも異なった評価となるのでは。

<事務局>

立川市全域を対象とした市民意向調査の全データから、町別を単位としてクロス集計を行い、評価を算出している。錦町についても、統計上、必要なサンプル数を確保していると考えている。

なお、調査方法の性質上、錦町の道路が良いと思ったのはどこか、といった個別のデータは取っていない。

<委員>

都市計画道路の立鉄中付の整備とはどのような内容か。

<事務局>

立鉄中付は鉄道事業者の JR 沿線に整備する付属道路で、道路ネットワーク形成とは異なった目的で整備される。

<委員>

立鉄中付2号は相互通行となるのか。

<事務局>

相互通行、一方通行については、整備段階、取り付け道路との取り合い等を調整し、地元の意見を伺いながら検討していくことになるが、現時点では決まっていない。

<委員>

立川駅北口は特に交通混雑が生じているので、効果的に整備を進めてもらいたい。

(2)中期期間に向けてについて、資料5・6をもとに事務局より説明を行った。

<事務局>

市民満足度調査については、行政の施策がどう反映されているかを数字として示すことが難しいため、参考指標として扱いたい。

<委員>

資料5、重点整備地区に示す都市計画道路は、どこを整備するのか。

<事務局>

資料2、主な重点的交通戦略・施策の施策一覧図を参照願いたい。

<委員>

中期計画は、施策パッケージを改めてもう一度切り出すものか、また、戦略の考え方である集中と選択から、これまでの戦略から特出しをするものなのか。

<事務局>

重点施策は、地区ごとにまちづくりの進捗が異なっている。また、市内全域を施策パッケージに加えたのが特徴である。

当初の戦略から 10 年が経っており、戦略は施策をパッケージ化し、効果的に作用させる主旨で、整備効果をまちづくりに寄与させるかを目標としていた。例えば西武線沿線では、駅ごとにまちづくりの成熟度が異なっている。当初の戦略から交通に関する時代背景が変わってきており、東京 2020 大会、バリアフリー、ネットワーク化等新たな要素が加わっていること、交通に関する時代背景を反映し、また、交通事業者等民間の事業を含め、より整備効果が上がるように次の計画期間についてこの協議会にて考えていきたい。

<会長>

新しい施策の追加や、終了した施策の削除等、今後の戦略に反映していきたい。

近年、交通に関しては、自動運転や MaaS などといった新しい技術が急速に開発されている。各事業者においては、どのような取り組み事を行っているか。

<委員>

UD タクシーについて、タクシー協会では 1 万台強の UD 化を目指し、都の補助金を活用しながら導入している。

立川市内では交通事故が増えており、交通安全の観点も入れてはどうか。

<事務局>

戦略パッケージの中に加え、指標を定めれば、安全対策も重点施策として推進していくことになる。

<副会長>

中期計画でおおむね 5 年程度で実施できることというのであれば、資料のような施策となるのは理解できる。

例えば中心市街地周辺地区であれば、複数の目的地を気楽にまわることができる、といった地区の目標があるが、歩きやすさに関連する施策は、エスカレーター、デッキの整備、交通安全等があり、それらの施策は入れ込むのか。

<事務局>

回遊性、安全性については、各地区の要素として施策に盛り込んでいると認識している。

<委員>

交通渋滞対策についてはどのような整理となっているか。

<委員>

交通渋滞に関しては、まだ決定ではないが、懸案箇所となっている場所において、交差点改善を行う検討を進めている。

<事務局>

交通渋滞に関しては、市、警察のみならず交通円滑化推進懇談会等、各組織で横断的に実施していきたい。

3. その他

なし。

	4. 閉 会
担当	まちづくり部交通対策課交通企画係 電話 042-523-2111(2279)